

市民の安全と安心を支え、市民と行政が協働で行うまちづくりの場として

新市庁舎建設工事着工



外観パース(南東側)



外観パース(北側)



内観パース(1F)



内観パース(2F)

- 市民の皆様への負担の軽減 -

新庁舎建築の財源については当初の基本構想の時点では整備事業費を48億円と見込み一般単独事業債、公共施設整備等基金及び一般財源を充てる予定でしたが、平成27年7月の大田原市庁舎復興基本計画では、事業費を見直し9億円増の57億円とし震災復興特別交付税や普通交付税措置のある合併特例債、被災施設復旧関連事業債を発行することで、市の実質負担額は約22億6千万円となり、基本構想策定時の市の実質負担額と比較して約25億4千万円軽減されることになりました。なお、市債の発行については長期的な視点に立ち財政負担の軽減や年度ごとの負担額の軽減に努めております。



新庁舎起工式 平成29年7月28日

平成30年11月末の
完成を目指して!

国への熱心な働きかけにより

約25億円の負担軽減

平成27年7月時点

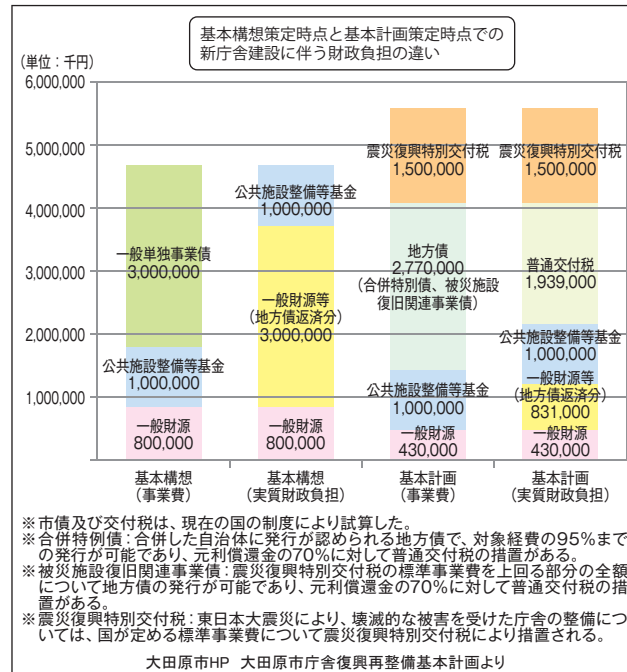


Photo Gallery



大田原龍城「せせらぎの舞」



とちぎテレビ「うたの王様」出張予選会



大田原小学校管理教室棟増改築落成記念式典



ありがとう鉛筆贈呈



与一まつり



国道294号小川湯津上バイパス開通式

とみおNEWS

平成29年(2017年) 11月発行

発行

つくい富雄励ます会事務所
大田原市上奥沢594
TEL: 0287 (22) 5344
FAX: 0287 (22) 5300
発行者: つくい富雄励ます会



つくい富雄市政報告

VOL.10



～つくい富雄 第三章～

躍動から、
成長へ!

栃木県・大田原市総合防災訓練

平成29年度 栃木県・大田原市総合防災訓練が、平成29年8月27日(日) 中田原工業団地内におきまして、盛大に開催されました。

訓練組織 総監 栃木県知事・本部長 大田原市長・副本部長 大田原市副市長
本部事務局 栃木県 県民生活課 危機管理課・大田原市 総合政策部 危機管理課

この防災訓練は、県民・市民の防災に対する理解と防災意識の高揚を図ることを目的として、毎年県内の市において持ち回りにより行われており、昨年度はさくら市で、本年度は大田原市、来年度(平成30年度)は、鹿沼市での開催が予定されております。

当日は、平成29年8月27日、午前8時59分ごろ、栃木県北東部に直下型の地震が発生した。この地震により、大田原市では震度7を観測したほか、近隣市町でも震度6強、6弱を観測するなど、大田原市を中心に土砂崩れや家屋の倒壊など、かなりの被害が発生している。との訓練想定のもと、89の訓練参加団体・機関の協力を得て行われました。

特に空からの救助訓練では、この度導入された救難ヘリ「おおるり」(写真)をはじめとして、自衛隊ヘリ、ドクターヘリなどにより、目を見張る救出訓練が行われました。また、群馬県の救難ヘリ「はるな」も駆けつけ、訓練に花を添え、参加者・見学者より惜しみない拍手が湧き起こりました。

また、ライフラインについても短時間での復旧工事が披露され、内容良し、天候良し、場所良し、との評価をいただきました。

大田原の魅力をブラッシュアップ

デスティネーションキャンペーンがやってくる！

いよいよ平成30年春、栃木県を舞台に開催！ 2018 4/1 ▶ 6/30



平成30年春に栃木県を舞台に開催されるデスティネーションキャンペーン、略してDCはJRグループ6社と地方公共団体・住民・企業などが協働で取り組む国内最大級の観光キャンペーンであります。

期間中に開催される屋台まつりや、くろばね紫陽花まつり、俳聖松尾芭蕉にちなんだイベントの開催、那須神社・雲巖寺・大雄寺などの歴史的観光資源を有効に活用し、さらには大田原市の食の魅力を訪れる多くの観光客に発信し、DC終了後も繰り返し訪れたいと思っていただけるよう取り組んでまいります。



子育て環境の更なる充実

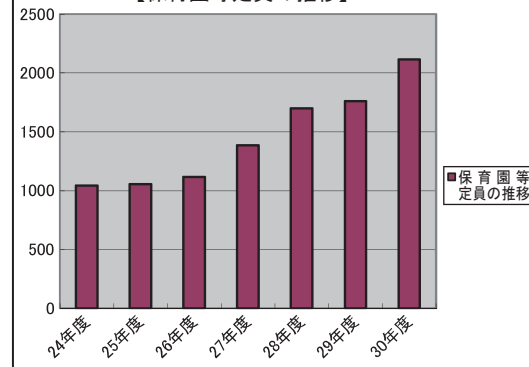
保育施設の受入れ体制の強化！

平成27年度からの子ども・子育て新制度のスタートにより、子ども・子育て支援事業計画に基づく供給量を確保するため、保育施設整備計画を計画通りに実施し定員増に努めております。

一人でも多くの児童の入所が可能になるよう平成30年度からの認定こども園移行予定のなでこ幼稚園や聖家幼稚園なども含め、今後ともより多くの受け入れ体制の確保に努めて参ります。



【保育園等定員の推移】



※ 定員数については各年度の保育園・認定こども園・小規模保育施設のしおりより算出しています。

※ 29年度までは認可定員、30年度予定については利用定員で標記。

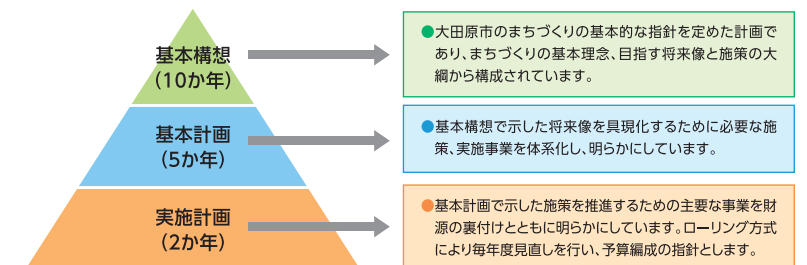
【利用定員】市町村が、認可を受けた教育・保育施設、地域型保育事業に対して、その申請に基づき、各施設・事業の類型に従い、1号認定、2号認定、3号認定の区分ごとに定めた定員

知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら

未来につなぐ国造り 大田原市総合計画 おおたわら国造りプラン策定



計画の構成と期間

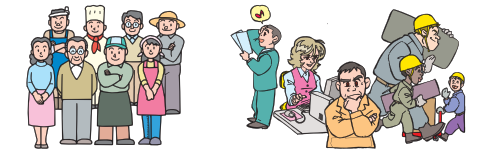


総合計画の名称「おおたわら国造りプラン」には、要衝の地であった「那須国」の時代に思いを馳せ、先人が築き、守り続けてきた自然や歴史、文化に培われた社会を受け継ぎ、人々が安心して暮らし、子どもを産み育てられる社会環境の創造を目指したまちづくりに取り組むことで、より良い「おおたわら」のまちを築き、次代に引き継ぐという思いが込められています。

計画の構成と期間

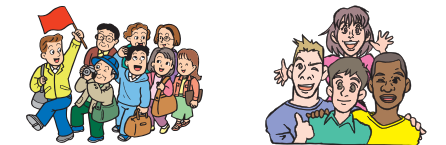
テーマ1 安定した雇用を創出する

- (1) だれもが働けるよう、雇用の創出に努めます。
 - ①新たな産業の創出
 - ②担い手育成の推進
- (2) 地域の特性を活かし、地場産業の振興を図ります。
 - ①地域特産物の競争力強化
 - ②商業の活性化
 - ③地元企業への支援



テーマ2 新たな人の流れをつくる

- (1) 地域資源を活用し、情報発信を強化し、人の呼び込みを促進します。
 - ①魅力発信の強化
 - ②地域資源を活かした誘客
 - ③移住定住の促進
- (2) 他地域との様々な交流を通じて、大田原市の魅力を発信します。
 - ①観光を通じた地域の活性化
 - ②食を通じた交流
 - ③地域間連携の推進



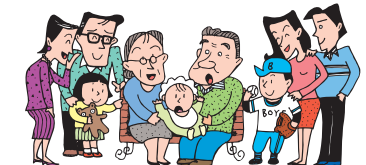
テーマ3 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

- (1) 希望どおりの結婚、子育てができる環境をつくれます。
 - ①若い世代への結婚支援
 - ②地域における子育て支援
 - ③子育てに関する経済的支援
 - ④安心して子育てができる環境づくり
- (2) 自ら学び、情操豊かな子どもが育つ環境をつくれます。
 - ①教育活動の充実
 - ②施設の充実と活用
 - ③教育支援の充実



テーマ4 時代に合った地域をつくる

- (1) 行政だけではできないまちづくりを市民参加により実現します。
 - ①市民活動の推進
 - ②市民参加の仕組みづくり
 - ③「市民の声」の把握と行政情報の提供
 - ④市民からの相談体制の充実
- (2) 市民が協力しあい笑顔と幸せがあふれるまちを築きます。
 - ①地域で支え合う仕組みづくり
 - ②地域人材の参画・育成支援



テーマ5 安心な暮らしを守る

- (1) 自然災害や火災などに備えた危機管理体制を強化し、市民の安全・安心を守ります。
 - ①大規模災害への対策
 - ②災害に備えたまちづくり
- (2) 事故や犯罪に巻き込まれるのを未然に防ぐ安全・安心なまちづくりを進めます。
 - ①犯罪の防止
 - ②交通安全の推進
 - ③外出支援の充実
 - ④子どもが遊べる施設の充実
- (3) だれもが安心して生活できるまちづくりを推進します。
 - ①生活基盤の整備
 - ②生活環境の向上
 - ③予防対策による健康づくりの推進

